

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
特別活動論	講義	1	矢野 正
【授業のテーマ及び到達目標】 特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体である。学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。			
【授業の概要】 特別活動の意義、目標及び内容を理解・把握する。特別活動(TOKKATSU)の指導の在り方を理解し、実践する。			
【全体の授業計画・内容】			
1. 学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解する。			
2. 教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解する。			
3. 学級活動の特質を理解する。			
4. 児童会活動、クラブ活動、学校行事の特質を理解する。			
5. 教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解する。			
6. 特別活動における取組の評価・改善活動の重要性を理解する。			
7. 合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を考究する。			
8. 特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解する。			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:自分の体験してきた特別活動について整理しておく。			
学習のあり方:新しい特別活動の在り方が注目されていることをしっかりと理解する。			
復習のあり方:自分が教壇に立った時に教科外活動を指導できるように準備する。			
【成績評価】 授業態度(15%)・中間レポートなど(15%)・到達度確認試験(70%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 授業後にウィークリーレポートに赤でコメントをつけて返却する。 また、授業後にメール(ai814059@hotmail.co.jp)などで質問することが望ましい。			
【テキスト】 矢野正・宮前桂子「教師力を高める学級経営」久美出版 文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別活動編」東洋館出版社			
【参考文献】 授業時に、適宜指示する。			